



大会開催にあたって

大会会長 根 津 嘉 澄
(東武鉄道株式会社 取締役社長)

子供たちの笑顔はいつの時代においても輝きを失わず、私たちを魅きつけて止みません。その笑顔は私たちの心を洗い、前に向かって歩いていく活力を与えてくれます。

子供たちの笑顔は、限りない可能性と未来を信じて疑わない純粋な気持ちを表し、生き活きと躍動する子供たちの姿こそが社会の活力を示す証ではないかと私たちは考えます。

私たち東武グループは1都4県、1,500万人を超える人々の暮らしや夢、希望を日々繋ぐお手伝いをさせていただいております。

この沿線の街々を皆様とともに力をあわせ、限りない可能性を持つ子供たちを見守り、育み、十二分に発揮させられる街へと築き上げていきたいと考えます。

鉄道が町と町をつないでいるように、子供たちを育むその輪を大きな沿線の輪として拡げていくお手伝いをさせていただき、子供たちを通じて各地域間の交流が深まり、地域を超えた連携の中で子供たちの成長を見守る社会ができることを夢見しております。

本年度、東上線大会は、おかげさまで第10回大会を迎えることができました。ひとえに、大会趣旨をご理解いただいた沿線地域関係者団体をはじめとする皆様方の多大なるご協力・ご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

来年度は本線東京・埼玉大会、本線栃木・群馬大会、再来年度は野田線大会が第10回大会を迎えます。本大会が子供たちの輝く笑顔の絶えない、健やかな少年少女を育む一助になれば幸いです。

最後になりましたが、本大会の開催にあたりご尽力いただきました関係者の皆様方に厚くお礼申し上げるとともに、出場する選手一人ひとりのご活躍とご健闘をお祈りいたします。